



子供たちから勇気

PTA会長 熊谷 幸平



今年度も、先生方、PTA会員の皆様、地域の皆様の御協力、ありがとうございます。

私にPTA会長を務まるのだろうか、不安な一年間でしたが、皆様のお力で何とかやってくれました。至らぬ点多々あったと思いますが、御容赦ください。

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に慣れ、いつの間にか、当たり前のようになってしまった様々な行事の制約や中止、私たちが小学生の頃に体験できたことを、今の子供たちは違う形で経験しています。制約がたくさんある中で、先生方には御尽力をいただき、子供たちは充実した生活を今年も送ることができました。毎日、楽しそうに登校する様子や行事での成長した姿を見ることができ、子供たちは今の時代を生きている、新しい価値観の中でたくましく成長していると感じることができました。新しい考え方もった子供たちはどこか頼もしく感じられ、大人にも、勇気を与えてくれたのではないのでしょうか。

今年度は、地域の行事なども再開し、例年通りとまではいきませんが、戻りつつあります。地域の皆様とも交流し、子供たちの元気な姿をたくさんお見せできるよう、早く終息することを願っています。

さて、月立小のよいところは、人との距離が近いところだと思います。学年関係なく遊ぶ子供たちや、学校に足を運んでくださる地域の皆様など、世代を越えた交流ができています。大人になり、地域の活動に違和感なく入っている礎になっていると思います。地域における学校の役割や大切さを改めて考えさせられました。

テレビを見ていると、学校に関する悲しいニュースも残念ながら、飛び込んできます。安心安全が当たり前だと思っている学校を月立小が維持できているのも、先生方や地域の皆様のたゆまぬ努力の賜物と存じます。心より感謝申し上げます。次年度も、皆様方の御協力をお願い申し上げます。一年間、ありがとうございました。

ブラボー！月立小学校！

校長 鹿野田 忠之



令和4年11月は、4年に一度のサッカーの祭典「2022FIFAワールドカップ」が開催されました。皆さんは御覧になりましたか？私は、にわかサッカーファンとなり、朝早く起き、日本代表のゲームを観戦し、一喜一憂しておりました。残念ながら、目標としていたベスト8には残れませんでした。優勝候補に挙げられていたドイツ、スペインを破り、予選を一位で通過するという偉業を達成しました。選手一人一人の活躍とチームとしてのまとまりが、このようなすばらしい結果につながったのではないかと、にわかサッカーファンの私は分析しています。題名にある「ブラボー！」は、日本代表の長友佑都選手が、この大会で使っていた掛け声です。各種報道でも取り上げられ、とても流行しました。代表選手一人一人の活躍を認め、チーム「サムライブルー」を鼓舞した、とても気持ちのこもった掛け声だと感じています。

さて、月立小学校では、保護者や地域の皆様の御理解御協力をいただきながら、教職員と子供たちが丸一丸となって活動し、よりよい学校づくりを進めています。令和4年度もコロナ禍の中での教育活動となりましたが、少しずつ子供たちの学校での頑張りを御覧いただく機会も広がりつつあります。コロナ禍前の日常に早く戻り、子供たちが活躍する姿を直接見ていただくことが、月立小学校のよさを感じていただける一番の機会であると考えています。そして、そんなすばらしい月立小学校にするために、多くの皆さんのお力添えがあることは、言うまでもありません。まさにサッカー日本代表に勝るとも劣らない「チーム月立」だと自負しております。

すばらしい月立小学校とするために、それぞれの立場で支えていただいている保護者や地域の皆様、指導に当たっている教職員、そして、日々成長を遂げている17名の子供たちも含めた「チーム月立」の皆さんに感謝の気持ちを込めて贈ります。「ブラボー！月立小学校！」



運動会 (5月)

元気いっぱい運動会

今年も、青空快晴の下、運動会が開催されました。白組赤組に分かれ、元気よく入場行進をして、みんな、日頃の練習の成果を発表するぞ!!と言わんばかりの開会式から始まり、小規模学校だからできる、一人一人がスタート前に意気込みを発表して走る徒競走、ジャンケンしながら走る対抗競走など、どの種目もとても白熱し、ときには笑もあり、月立っらしい、すばらしい運動会でした。毎年恒例のダンスも、元気いっぱいすばらしいダンスで、子供たちからいっぱい元気をもらいました。御指導いただきました先生方、こだま隊の皆様、本当にありがとうございました。



修学旅行 (6月)

修学旅行

1泊2日の会津若松への修学旅行。家族と離れての初めての泊まりを嫌はずっと楽しみにしていました。当日、親の心配もよそに、はりきって出発していきました。学校から届く写真付きのメールで、皆元気に過ごしていることが分かり安心しました。先生方には、暑さ対策のため予定していた歩きのコースをバスでの移動に変更して下さったり、感染対策をとったりといろいろな面で御配慮いただき本当にありがとうございました。学校に到着し、バスから降りてきた子供たちの表情がいきいきとしていて、楽しい修学旅行だったということが伝わってきました。



はじめまして集会 (4月)

ぶどう狩り

初めての参加で親子共々楽しみにしていました。山ぶどうのイメージは、酸っぱくて食べられないという感じだったのですが、田島さんの山ぶどうは、酸味があるものの甘味のほうが断然強く食べた時に食べれば元気が出そうという感じで本当にびっくりしました。収穫の手伝いをさせていただきましたが、やさしく扱わないとポロポロ落ちるので、不器用な私は結構神経を使いました(笑)。収穫から分別、分別も無駄なく全て使い商品を作る話も興味津々に聞いている子供たち。体験を通して知識もそうですが、感性も豊かになってやっぱり良いことだと改めて感じました。



ぶどう狩り (10月)



1~4年生 遠足 (6月)



八瀬パラダイス (9月)

鹿踊@新月公民館まつり

「ずいぶん練習したんだな…」演舞を見ていた保存会の方がそう言ってきました。見えないところでの稽古までつけてくださる保存会の皆様、その保存会を支える地域の皆様に、改めまして感謝を申し上げます。大きすぎるステージは、逆に緊張しないそうです。保存会の方々もうちの中学の娘たちも、そう言います。これが本物たちの感覚なのでしょう。か。「大きくないステージで、知っている人たちがたくさんいる前での演舞が一番緊張する。」つまり、今回一番厳しい条件での発表となったようです。5・6年生の魅力が余すところなく伝わってくる洗練された演舞でした。中立! 雄鹿! ありがとうございます!



新月公民館まつり (10月)



こだまステージ発表会 (10月)

こだまステージ発表会

1・2年生の可愛らしい「開会の言葉」から始まり、6年生による「塚沢神楽」短期間の練習でありながらも堂々と踊っていました。1・2年生の「泣いた赤鬼」感情を込めて朗読する姿は、1・2年生とは思えない程、圧巻でした。3・4年生の「浦島次郎」音楽劇として、一人一人が個性豊かに演じ、沢山の笑いを届けてくれました。5・6年生の「君鼻山は偉人山？」ストーリーも道具も全て手作り、見応えのある発表会でした。

こだまステージ発表会において、それぞれの役割を果たしていきながら、日頃の学習の成果を発揮できた舞台でした。



軽トラ市 (11月)

感動の軽トラ市

11月の秋晴れの中、軽トラ市での焼き芋販売が行われました。今年は何れも良く製作となりました。「去年より沢山採れた」という息子は去年の芋の状況を覚えていた様で、去年のことは忘れていた私を驚かせてくれました。溝口先生飛び入り参加の恒例「芋ほり音頭」はとて可愛らしく、観客の心を鷲掴みといった様子でした。販売が始まり、1・2年生各々が担当をもって「いらっしゃいませ」「何個ですか?」「ありがとうございます」と恥ずかしそうに、でもしっかりと接客する姿に、「こうやって社会の一員になっていくんだなあ」と胸が熱くなるのを感じました。



フットサル大会 (11月)

勝敗の先へ

月立小学校を舞台に熱い戦いが始まりました。

私は練習初日から参加しました。初めは「楽しくやろう」という子供たちも、大会が近くなるにつれどうすれば勝つことができるか、工夫を凝らしながら練習をしていました。そして迎えた大会当日。緊張しながらも、絶対に勝つんだという力強い眼差しの子供たち。しかし結果は2連敗。それでも試合が終わった子供たちの表情は充実感にあふれていました。勝利にたどり着くことはできませんでしたが、一人一人が、勝利以上の何かを掴みとれた気がしました。

月立っ子の皆さん、熱い戦いをありがとうございました。



月立子どもフェスティバル (11月)

月立子どもフェスティバル

娘の姿を通し、月立っ子の強みを見ました。その姿とは、上級生が保護者にルール説明をしている傍らで、真剣な眼差しで上級生を見つめている姿でした。真似る行動は、日々子供の成長に繋がっています。先輩の姿をまねて、私に恥ずかしがらず、スムーズにルール説明してくれた娘のコミュニケーション能力に感嘆しました。現役、歴代の月立っ子は進級早々に、それぞれ役割を、臆せず堂々と披露します。何故、進級早々にできるのか理由が知りたい私に納得できる答えでした。私たち夫婦の目標は、「何事も楽しむ。面白い」です。娘に学んでほしい部分です。

はじめてのPTA

仲間入りできて光栄です!

おかげさまで、おてんば娘の学校生活は、何をするにも楽しいようで、それを物語るかのようにスニーカーは3足目(上靴は2足目)という、とても充実した1年となりました。親目線では、月立っ子の純朴さに心温まり、何事にも一生懸命取り組む姿に毎回感動させられる、そんな素敵な1年でもありました。

そして、この月立の地域の人たちはみんな「子供たちのために」という熱い想いで一致団結している。私が仲間入りしたのはただのPTAじゃない、「P+T+ALL月立」という最強組織だったんだ!と実感する1年でした。



Q1. 小学校生活での一番の思い出は？

Q2. 中学校での抱負は？

Q3. 好きだった給食のメニューは？

①野外活動

②部活と勉強を両立したい

③サンマの梅煮

①小2の2学期のお楽しみ会

②人との関わりを大切にしつつ勉強

も頑張る ③カミカミサラダ

PTA 卒業によせて

～長い間、お疲れ様でした～

成長

8年という長い間、PTAの一員としてたくさんの経験をさせていただきました。地域の皆様の温かい御協力をいただきながら、子供たちも成長し、また親として私自身も成長させていただくことができました。新型コロナウイルスの影響で活動が制限されてしまったこともありました。会員の皆様と過ごせた時間は非常に有意義で楽しい時間でした。今後は地域の一員として子供たちを見守り、サポートしていきたいと思っております。ありがとうございました。

感恩戴徳

長女から始まり、途中2年間離れてはいましたが、延べ14年間大変お世話になりました。昔から、子供を小規模校で育てたいと憧れがありました。穏やかに伸び伸びと育ってほしかったからです。実際は子供だけではなく、親も伸び伸び楽しく過ごせました。子育ての中で一番成功したと思えたのが月立小学校入学です。そして、誰かが代わりにやってくれるだろうではなく、一人一人が積極的に活動する月立小PTAは貴重です。前に進めるたくさんの思い出をくださった先生方、保護者の方々、地域の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

編集後記

校外環境部長

コロナ禍はかれこれ3年経ちます。誰もが大変な思いをしてきました。この間我が子たちの笑顔や元気に走り回る姿、学習の成果などを、御世話になっている地域の方々に見てもらうことができず、とても残念に思っています。昨年10月には3年ぶりに駅伝競走が行われました。集会所や沿道に地区の方々が集まり、久しぶりに八瀬が盛り上がりました！令和5年度も児童数は少ないですが、コロナ終息を祈りながら、先生方と親たちの協力タッグで子供たちを盛り上げ、学校を中心に八瀬を盛り上げられるよう頑張りますので、皆様の変わらぬ御支援をお願いします。

校外環境部